

平成 29 年

3 月 (株)リクルートホールディングスと包括連携協定を締結

6 月 原産地呼称管理制度やふるさと納税に参加できる条件等をわかりやすく説明したパンフレットを作成





市内のみかん生産者にアンケート調査を実施

7 月 ①みかん生産者を対象とした説明会を開催

8 月 ②首都圏スーパーのバイヤーによる園地視察

11 月 原産地呼称管理制度有田みかん官能審査会




12 月 ③三越日本橋店で有田みかんを販売

① 7月13日
160人の方々が参加し、原産地呼称管理制度やふるさと納税にみかんを提供する申請方法などについて説明しました。

② 8月25日～26日
8軒のみかん生産者と市場流通以外の販路開拓に取り組むことに。首都圏のスーパーの方々が園地視察等に来られ、生産者の方々は有田みかんの作り方、こだわりを伝えました。

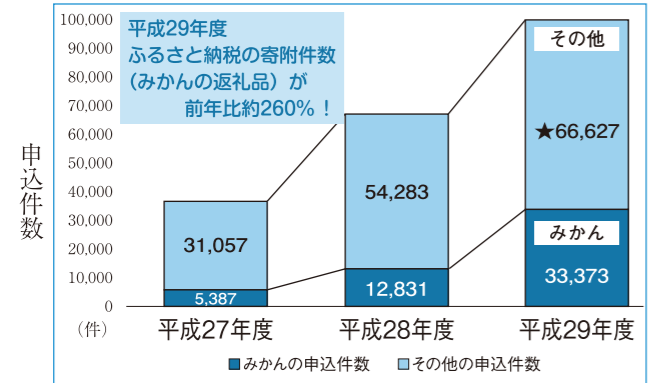
③ 11月29日～12月5日
東京の三越日本橋店で有田みかんを販売したところ、1週間で約1,700袋(1袋=1kg)を完売しました。

今期の成果

ふるさと納税返礼品 みかんと全体の申込件数

ふるさと納税返礼品のみかんを通じて、有田みかんの魅力が広がっています。そのみかんの供給量を確保するために、農家説明会を開催するなどの取り組みを行い、ふるさと納税の参加農家は、前年比188% (83農家) となりました。



★平成29年度のその他の申込件数は見込みの数値。

- ★原産地呼称管理制度の認定園地面積が前年比137%! (25.7haに)
- ★ダイレクト流通の販路開拓により、販売単価20%アップ!

◆◆◆◆◆ 未来に向けて ◆◆◆◆◆

- ・有田みかんのブランドカアップ!
- ・生産性改善の取り組みに向けて検討
- ・経営人材の育成



～ 始まりの一步 ～

有田みかんを未来へ・・・後継者問題等課題があるなかで、有田みかんの再ブランド化をめざし、原産地呼称管理制度を創設し、「認定みかん」の普及に取り組んでいます。そんな中、昨年3月、(株)リクルートホールディングスと地方創生に関する包括連携協定を締結し、有田市の農業と一緒に盛り立てていきたい、という想いを込めて Cheers Agri Project (チアーズ アグリ プロジェクト) を発足しました。これは行政と農業者にとって、新たなチャレンジとなる取り組みです。プロジェクト発足から約1年。これまでの取り組みをご紹介します。

ARIDA 有田市

産業振興

- ・地域の収入増加
- ・地域の雇用増加
- ・農業後継者問題の解決

RECRUIT

地方創生

一次産業分野での新たな課題解決手法を探求

有田みかんを未来へ

今回のプロジェクトと一緒に進めていくメンバーの一人である、(株)リクルートホールディングスの小林さんに有田市の印象や農家さんとの交流を通じて感じたことなどを聞きました。



(株)リクルートホールディングス
こばやし けいた
小林 慶太さん

有田市に来て、山に畑がある独特の景観が不思議で、石垣のきれいな畑は後世に残さないといけない資産だと感じました。

みかん農家さんとお話する中で、先祖から引き継いだ園地を守っていききたいという思いや、みかんづくりに誇りを持っておられる印象を受けました。皆さん、園地を守っていただけるかどうか、新たな担い手不足が課題であることを実感しており、それをどうにかしたいという強い思いを感じました。

適地・適作・適人の三拍子そろっている有田みかん農業。有田みかんの未来のために、みかん農家さんの課題をしっかりと受け止め、それを改善するための施策を考え、少しでも有田市の役に立てればと思います。